

透析患者コホート疫学調査 2017
—血液透析患者コホートの長期予後と死因に関する調査研究— (中間報告)

研究代表者： 田中 純子
研究協力者： 正木崇生 (広島大学 腎臓内科)
研究協力者： 片山 恵子、永島 慎太郎、山本 周子、 KOKO
広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 疫学・疾病制御学

研究要旨

血液透析患者集団の肝炎ウイルス感染状況及び血液透析患者の生命予後に関連する要因を明らかにすることを目的として、1999年から最大17年余の長期間追跡を行っている血液透析患者集団について転帰調査及び血清疫学調査を行った。調査対象1,695名のうち、2017年12月時点で9施設中5施設778名(45.9%)の転帰調査結果が得られた。

現在、調査実施中であり、資料の収集と免疫血清学的解析中であるため、中間報告とする。

研究協力施設：土谷総合病院 (中島土谷クリニック)、一陽会 (原田病院、一陽会クリニック、イーストクリニック)、博愛クリニック、中央内科クリニック、尾道クリニック、山陽病院、フェニックスクリニック、山下医院、博美医院、広島大学腎臓内科学

A. 研究目的

研究班は、広島県内の血液透析医療機関の血液透析患者集団を対象として1999～2003年に前向きコホート調査を行ったが、その後、同一コホートに対し2010年に生命予後調査を行った。

2010年の解析結果では、調査対象3,096名(HBsAg陽性率2.2%、HCVキャリア率13.8%)の転帰は、死亡47.6%、血液透析患者の生命予後と肝炎ウイルス持続感染には関連を認めず、死亡リスクに関連する要因として糖尿病と透析開始時年齢が示された。

今年度は、1999年から最大17年余の長期間追跡を行っている同一血液透析患者コホート集団に対して、2017年時点の転帰調査及び血清疫学調査を行い、血液透析患者の生命予後に関連する要因を明らかにする。

また、同コホートにおける肝炎ウイルス感染や肝病態と生命予後の関連について解析を行い、血液透析患者に対するC型肝炎の治療導入等の基礎資料とする。

B. 対象と方法

【対象】

広島県内の9つの血液透析医療機関の全血液透析患者のうち、次に示す1)および2)の計1,695名を調査対象とした(図1)。

1) 2010年の生命予後調査の対象者3,096名(男性：1,818名、女性：1,278名；72.4±13.2歳)のうち、2010年時点で「通院中」であった950名

2) 2010年時点で新規に調査に参入した745名(2010.12月時点の年齢：66.5±12.9歳(16歳～96歳))

【方法】

1) 2017年4月時点における転帰を診療録から下記の調査項目について調査を行った。

調査項目：属性(性・年齢・生年月日)、透析導入日、転帰、死因、死亡日、糖尿病の有無、原疾患、合併症等、B型肝炎ウイルス検査結果(HBsAg, HBV DNA)、C型肝炎ウイルス検査結果(HCV抗体, HCV RNA)及び肝炎ウイルスキャリアの肝疾患臨床経過(肝細胞癌、肝硬変の発症)。

2) 通常診療の検査時に追加採血を行い、肝炎ウイルス関連測定を行う。

HBs抗原、HBs抗体、HBc抗体、HCV抗体(いずれもCLEIA法)、HBV DNA、HBV genotype、HCV RNA、HCV genotypeを測定・検出した。

HBs抗原はルミパルス®II HBsAg(富士レビオ)とルミパルス®HBsAg-HQ(富士レビオ)、HBs抗体はルミパルス®HBsAb-N(富士レビオ)、HBc抗体は、ルミパルス®II HBcAb-N(富士レビオ) HCV抗体は、ルミパルス®II オーソ®HCVにより測定した。

HBV DNAの検出は、Real time PCR 及び nested RT PCRにより行った。

【倫理的配慮】

この研究は広島大学疫学倫理審査委員会の承認を得、さらに各共同研究施設において倫理審査を行った。(第E疫-294-2号)

C. 結果 (中間報告)

1. 転帰調査

調査対象 1,695 名のうち、2017 年 12 月時点で 9 施設中 5 施設 778 名 (45.9%) の転帰調査結果が得られ、集計を行った。

778 名中、死亡 347 名 (44.6%)、通院中が 314 名 (40.4%)、転院 103 名 (13.2%) であった。

2. 肝炎ウイルス感染状況

9 施設中 5 施設の通院中 314 名のうち、249 名について採血を実施した。HBs 抗原陽性者は認めず、HCV 抗体陽性率は 9.5% であった。

E. 結論

引き続き調査を行う。

F. 健康危険情報

特記すべきことなし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

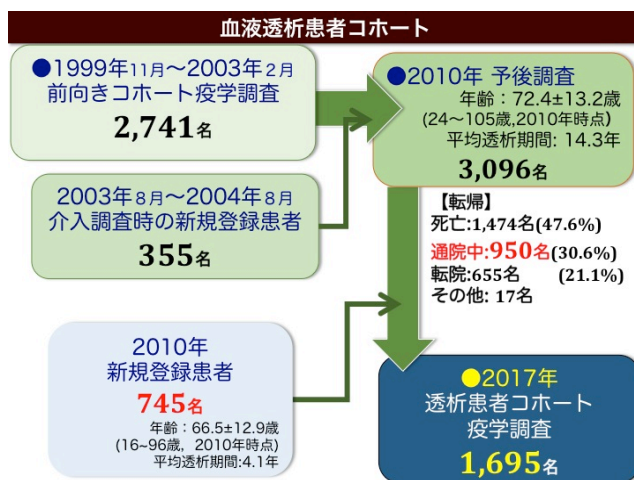


図 1. 血液透析患者コホート

図 2. 転帰調査(中間報告)

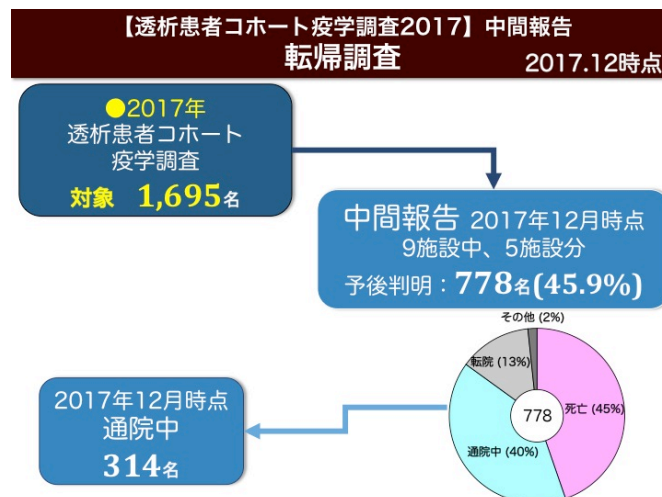


図 3. 肝炎調査(中間報告)

